

野田地区タウンミーティング概要

- 1 日 時 平成22年6月21日（月）19時～20時30分
- 2 場 所 野栄総合支所 2階小ホール
- 3 参加者 36人
- 4 市職員 太田市長、鈴木副市長、江波戸教育長、秘書課長、企画課長、総務課長、
財政課長、税務課長、野栄総合支所長
- 5 概 要
 - (1) 開会
 - (2) 区長会長あいさつ
 - (3) 市政報告（太田市長）
 - (4) 質問（要点のみ掲載）

① 環境衛生関係

九十九里浜に憧れて引っ越してきたが、現在の九十九里浜はとても汚い。吉崎浜にきれいなトイレを作ってくれたことは感謝している。きれいな海岸になるようお願いしたい。

また、ゴミ袋が高い。もっと安く出来ないか。

（市長回答）

ゴミ問題、九十九里浜の問題についてご意見をいただきましたが、市役所で全力をあげてきれいなまちにしていきたいと思っております。

② 循環バス関係

循環バスの便数が少なくてとても不便である。車を運転できないので、買い物などに困っている。市長は10月から土曜日の運行を開始してくれるとのことだが、もっと早く開始してもらえないか。

（市長回答）

循環バスについては、制度上の問題があり、国土交通省などに申請して許可をもらうまで半年くらいかかってしまう。お役所仕事といわれるかもしれないが、一応そういう段取りを踏んでいかなければならないことになっています。一生懸命に頑張って10月になんとか間に合うかということですので、ご理解いただきたいと思います。

③ 農業関係

広報によると農業予算が市の全体予算の2%ということであった。農業が基幹産業である匝瑳市にとって、これはかなり低いのではないか。

(市長回答)

農業予算については当初予算で2.6%となっています。数字からいうと農業従事者の方にとっては少なく感じると思いますが、基盤整備などの大きな事業を行うときには予算が増え、それを行わないときには減るという構造になっています。

6月補正で農業予算については、植木関係、農産物関係のために1000万くらい増額しています。

④ 野栄総合支所関係

野栄総合支所の職員が減っている。野栄地域に責任をもつ総合支所の人員をなぜ減らさなければならないのか。私が支所に行ったとき「この仕事は本庁でやっているから本庁へ行ってください。」と言われた。そういう総合支所は本当の総合支所じゃない。野栄地域の住民に対して責任をもてる総合支所にしてもらいたい。

(市長回答)

全国的に言えることだが、合併をした市町村は職員減を図っていくのは大前提であり、どうしても職員数は少なくなっていくざるを得ないという状態です。

支所の職員数の問題についても、議会のたびに指摘されているところではありますが、行政としても支所を利用する方々に支障のないように、またご不便をかけないように、極力その希望に応えていくという心掛けでおります。鋭意努力しているところでありますので、ご理解をいただきたいと思っております。

⑤ 市道の草刈関係

市道の草刈りの予算は市でどれくらいあるのか？

ほとんどの市道は農業者が管理している状態。市で業者などに管理を頼んだりするのか？農業者にまかせているのではないか？農業者が大変苦勞している。大きく経営している人は、田んぼを管理するには、市道を何十kmも管理しなければならず、草刈りも年4回くらいやらなくてはきれいにならない。

田植えや稲刈りより草刈りの時間が長い。農業者が草刈りのために高額な草刈り機を買って自分たちで整備している状況。その辺を理解していただきたい。

(市長回答)

市道の草刈については十分検討させていただきたいと思います。

⑥ ジャンボタニシ関係

ジャンボタニシについても農業者は困っている。市の対策を教えて欲しい。私としては冬の田んぼを乾田にすることでタニシが少なくなるのではと考えている。ぜひ、農業予算の中で用排水を完備していくよう努力してもらいたい。

(秘書課長回答)

ジャンボタニシについては、市でも担当課において駆除の仕方を検討しているところです。措置の仕方などについて、広報紙などを活用してタイムリーにお知らせしていきたいと思います。

⑦ 循環バス関係

堀川西地区は現在循環バスが運行されていない。利用者が少ないという理由から運行がなくなってしまった。私の地区にも独居老人がいて、月に何度かバスを利用していた人がいる。その人は今、杖をつきながら隣の地区まで通っている。ぜひ堀川西まで運行を再開してもらいたい。

(企画課長回答)

循環バスについては平成21年4月に改正を行い、1日5便から6便に増便しました。循環バスの性格上、多くのバス停を使えば使うほど1周するのに時間がかかることから、ルートの見直しにあわせて一部のバス停を廃止しました。

今後も様々な意見をお伺いしながら、市内循環バス利用向上対策委員会の中で検討していきたいと思います。

⑧ 給食センター関係

野栄地域には給食甲子園優勝という素晴らしい給食がある。野栄給食センターの職員、農産物をセンターに提供している農家が努力を重ねてきた賜物だと考えている。ぜひこの日本一の給食を統合してからも続けてもらいたい。新成人が成人式の日給食を食べるのが楽しみだという給食にしてもらいたい。

(市長回答)

野栄の学校給食は全国一なのでこれはどうしても生かしておきたい、継承していかなくてはならないと思っています。給食センターを統合しても野栄の給食甲子園優勝の味、地産地消には手を抜かず、続けられるよう進めていきます。

(教育長回答)

給食センターを統合しても全国一の野栄の給食を続けられるかどうかについては、実際に運営に関わっている者を交えて検討した結果、それは可能であるという結論が出ています。新しい給食センターで引き続き地産地消、栄養バランスのいい手作りの給食を続けようという方向で現在努力をしているところです。栄養士、調理員、みんなの努力によって可能だと考えています。

⑨ 防災行政無線関係

防災無線についてだが、屋外の防災無線が、各家庭（屋内）に受信機があるからという理由で私たちの地域からはずされた。農業者は外にいることが多いので屋外の防災無線を設置していただきたい。

(市長回答)

防災無線については、以前、野田・栄地区は確かに屋外が多かったが、デジタル化に伴って屋内の各戸別に変更しています。しかしながら野田・栄地区は海岸線があるということもあり、山の手には比べれば倍の屋外拡声機が設置されていますので、ご理解をいただきたいと思います。

(総務課長回答)

防災無線の屋外拡声機については、平成21年度に津波対策で12局、避難所で18局を整備し事業を終了してします。「屋外拡声がうるさいからやめてほしい」という意見もあり、現段階では屋外拡声は時報と緊急放送に限定して市民の方々にご理解をいただいているところです。

⑩ ごみ袋関係

ごみ袋のサイズについて、可燃ごみの袋は小さいサイズのものがあるけれど資源ごみには無い。缶などで袋をいっぱいにするには1年以上かかるので小さいサイズのものをお願いしたい。

(市長回答)

ゴミ袋については、むだの無いような形で、そういうご意見があれば検討させていただきますと思います。

⑪ 門松カード関係

正月に配られる賀正の札2枚は必要な人だけに配ればいいのか？税金だからもっと考えて欲しい。

(市長回答)

門松カードについては、昔は各家で門松を作って飾っていたが、むだを省こうということもあり、ああいう形になったものであります。それでもまだ無駄だというご意見であれば、検討してみたいと思います。

⑫ 市の財政関係

市の財政はどうなっているのか。借金はどのくらいあるのか？前年に比べて改善しているのか。どんな節約をしているのか？

(財政課長回答)

市の借金は、平成21年度末で約130億円。22年度末には133億円に増える見込みです。財政全体の状況は小泉政権の頃が一番厳しかったですが、その頃からみると、国から市へ来るお金が増えているのでだいぶ良くなってきています。

ただし、合併した市町村は10年間地方交付税が余分にもらえる仕組みになっていますが、10年経つと匝瑳市では今より約6億円減ることになりますので、そういったことも考えながら財政運営をしていかなくてはならないと思っています。

(総務課長回答)

節約については、平成18年から5年計画で取り組んでいます。4年が経過し、75.9%の達成状況で、削減額は約17億円です。その削減策の中心は職員数の減で、総職員数は合併時から比べると61人減っています。

⑬ 労働人口関係

私は飯高小が閉鎖になったことに驚いた。私の心配は市の若年者が減っていくこと。それと市の経済。今の状況が進んでいくと市内の労働人口が減少して

いく。匝瑳市も労働人口が減っていると思うが合併時点とくらべて労働人口が
どういう推移をしているのか。その減少率と行政改革があっているのか。もっ
と職員数や議員定数を減らさなければならないかもしれない。これらのことも
含めて市は政策を考えているのか。

(市長回答)

少子高齢化、労働人口の減少などは、市の将来像を考えると頭の痛いこと
です。工場誘致、若い人が働く場所の確保については絶えず努力をしていかな
ければならないと思っています。また、若い人たちに定住してもらえるよう、育
児や教育の問題などで少しでも行政面でお手伝いできればと考えています。
とにかく若い人の人口増については極力努力していきたいと思います。

⑭ 給食センター関係

子どもたちには、生まれ育ったところの地産地消を食べてもらいたい。温か
い給食を食べてもらいたい。給食センターが合併して温かい給食を食べられる
のか。

本当に安全なものを供給するというのが行政の仕事だと思う。今結果が出な
くても20年先に子どもたちが地元の食材で作られたあの給食を食べたい。そ
う思えるような、将来を見越した教育をお願いしたい。

(市長回答)

給食の地産地消のための食料調達是非常に難しく、多方面にわたることから
教育委員会だけでやりきれない問題ではないということで、市役所あげて地産地
消に関するチームを作っていこうと取り組んでいるところです。窓口は産業振
興課になりますが、その他の関係課と連携をとって地産地消のためのよりよい
形を作っていこうと検討中であります。

⑮ 南北道路関係

南北道路を計画しているところだが、費用対効果で考えて、本当にやる必要
があるのか。

また、施工に当たっては、例えばアスファルトに比べて単価の安いコンクリ
ートで舗装するなど、効率化というか、改革の可能性があると思うので、その
へんを真剣に考えてもらいたい。

行政改革で言うなら、日本全国の行財政改革の事例を参考にして、もっと出
来るのではないかと。そういうところを考えてもらいたい。

(市長回答)

道路については、これは地域経済の発展のためには欠かせないものだと思います。財政面でも無駄な金を使うのはどうかということだが、少しでも安くいいものを作っていきたい。最小の負担で最大の効果をあげられるよう努力してまいります。

⑩ 海水浴場関係

成熟した社会には観光産業がとても重要。市内で人を呼べる観光施設は飯高檀林と九十九里浜。海水浴場は去年、途中閉鎖してしまったが今年の状況はどうか。また、市では今後、海水浴場をどのように考えているのか。横芝光町も旭市も海の施設を重要と考えており、今年もその動きがすでに見られる。匝瑳市の考えは？

(市長回答)

堀川浜海水浴場は、本市唯一の海水浴場ですが、去年は開設10日後に閉鎖せざるを得なくなっていました。なかなか海の環境がよくなるのが現状であり、現在、千葉レクリエーション株式会社に海水浴場を開けるかどうかの調査をお願いしているところです。

市としても海水浴場はぜひオープンしたいところですが、これは人命に関わる問題なので慎重に進めていきたいと思います。結果が出たら広報紙などでお知らせしていきます。